

科 目		必・選	担 当 教 員		学年・学科		単位数	授 業 形 態					
英語総合 Comprehensive English		必	森岡 隆		2 年生 物質工学科		4	通年 週 4 時間					
授業概要		1. 1 年次で学習した内容を発展させ、基本的な語法により習熟する。また「聞く」「話す」「読む」「書く」の技能を高め、技術者に必要な実践的英語力を養う。 2. 種々の読み物を通して、英語圏に限らず世界各国の状況に触れ、国際的視野を広める。 3. 視聴覚教材を活用してオーラル・コミュニケーション能力の向上を図る。											
到達目標		1. 教科書の内容や教師の話す英語を聞いて、大体的内容を理解できる。 2. 自分の身の回りや日常的な内容について簡単に英語で応答し、発話できる。 3. 教科書及びそれと同程度の文献を読んで、辞書を使えば、その概略を理解できる。 4. 自分の身の回りや日常的な内容について、簡単な文章を英語で書ける。											
評価方法		前・後期の中間・期末の定期試験（60％）、授業中の小テスト、教科書等の朗読や暗唱、レポートなどの課題内容（40％）で評価する。欠課時数が1/3を超えないこと。											
教科書等		教科書：Exceed: English Series II(三省堂)、教科書準拠のワークブック 参考書：『理工系学生のための必修英単語3300』（成美堂）、『総合英語 Forest (6th Edition) 』（桐原書店）											
内 容									学習・教育目標				
第 1 週	Lesson 1. <i>Greetings from the Heart</i>							D					
第 2 週	"							D					
第 3 週	"							D					
第 4 週	"/ For Speaking 1							D					
第 5 週	2. <i>New Rules for Themselves</i>							D					
第 6 週	"							D					
第 7 週	"							D					
第 8 週	"/ For Speaking 2							D					
							<前期中間試験>						
第 9 週	3. <i>Messages from the Sea</i>							D					
第 1 0 週	"							D					
第 1 1 週	"							D					
第 1 2 週	"/ Words 1 / For Speaking 3							D					
第 1 3 週	4. <i>A Model of the Atomic Bomb Dome</i>							D					
第 1 4 週	"							D					
第 1 5 週	"/ Poem 1 / For Speaking 4							D					
							<前期期末試験>						
第 1 6 週	Words 2/ 5. <i>Kaneko Misuzu</i>							D					
第 1 7 週	"							D					
第 1 8 週	"							D					
第 1 9 週	"/ For Speaking 5							D					
第 2 0 週	6. <i>Wonders of Memory</i>							D					
第 2 1 週	"							D					
第 2 2 週	"							D					
第 2 3 週	"/ For Speaking 6 / Words 3							D					
							<後期中間試験>						
第 2 4 週	7. <i>Nowhere Man</i>							D					
第 2 5 週	"							D					
第 2 6 週	"							D					
第 2 7 週	"/ For Speaking 7							D					
第 2 8 週	8. <i>Aboriginal Art in Australia</i>							D					
第 2 9 週	"							D					
第 3 0 週	"/ For Speaking 8							D					
							<後期期末試験>						
(特記事項)			JABEE との関連										
Readings 1&2は、長期休暇中の課題とすることがある。			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
			・教育目標								○		

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。）

英語総合 ガイダンス

第1～4週： Lesson 1. *Greetings from the Heart* 「あいさつに込められた意味」
5文型（復習）

第5～8週： 2. *New Rules for Themselves* 「こうすればだれでもスポーツを楽しめる」
SV that 節 / SV that節、what節、whether節 / seemを用いた文型

第9～12週： 3. *Messages from the Sea* 「海の生きものたちの知恵」
現在分詞の後置修飾（復習） / 現在分詞を用いた分詞構文

第13～15週： 4. *A Model of the Atomic Bomb Dome* 「たった一人の高校生の行動が」
過去分詞の後置修飾（復習） / SV 過去分詞 / 過去分詞を用いた分詞構文 / SVO 過去分詞

第16～19週： 5. *Kaneko Misuzu* 「『小さいもの』『見えないもの』への思いやり」
接触節（復習） / 前置詞＋関係代名詞 / 関係代名詞と関係副詞の非制限用法

第20～23週： 6. *Wonders of Memory* 「記憶力を向上させるには」
現在完了形（復習） / 現在完了進行形 / 未来進行形

第24～27週： 7. *Nowhere Man* 「ジョン・レノンの青春時代」
If 節（復習） / 仮定法過去 / I wish～ / as if～

第28～30週： 8. *Aboriginal Art in Australia* 「オーストラリア先住民の描く『夢』」
仮定法過去（復習） / 仮定法過去完了 / 強調構文（It～that 節）